

島

祐貴さん(37)



主に知的障害者を対象にした作業所など尼崎市に15カ所の事業所を抱える社会福祉法人「福成会」の職員応募のポスターを考案した。建築関係の仕事をした。疑問を持った。障害に夢や希望を抱き入った。夢や希望を抱き入ってきた職員から「やめたい」「しんどい」などの言葉を聞くようになり「なぜ福祉業界に入らなくてこないのか」と疑問を持った。障害から「ありがとう」と笑顔がこぼれる現場に何度もち会ってきた。福祉の現場はやりがいと、笑顔でいっぱいであると感じた。ポスターに載せる写真を見せた。

やりがいある福祉の現場

していたデザインの知識を生かし、カラフルで若者の目にも留まりやすくした。

者の一般企業への就職支援を行う相談支援専門員を務める中、障害者雇用を決めた一般企業から「早く採用を決めれば良かった」と偏見が無くなり、利用者生に寄り添える仕事で

「福祉の現場はきついです。」などのコメントが散りばめられる。ポスターの真ん中に据えたハートマークの中には各職員が福祉の現場で見せる「笑顔」の写真を載せた。

6、7年前から。福祉現場での人員不足を感じ始めたのは、7年前から。福祉現場での人員不足を感じ始めたのは、7年前から。福祉現場での人員不足を感じ始めたのは、7年前から。

業から「早く採用を決めれば良かった」と偏見が無くなり、利用者生に寄り添える仕事で

「福祉の現場はきついです。」などのコメントが散りばめられる。ポスターの真ん中に据えたハートマークの中には各職員が福祉の現場で見せる「笑顔」の写真を載せた。

【宮武祐希】